

# 日本史

1

**解答**

問1. ④ 問2. ④ 問3. ② 問4. ① 問5. ③  
問6. ① 問7. ② 問8. ③ 問9. ① 問10. ③  
問11. ① 問12. ④ 問13. ② 問14. ② 問15. ③

## ◀解説▶

### 《原始・古代・中世の農業や土地制度の変遷》

問1. ④が正しい。2は正文、1は誤文。縄文時代になると気候は温暖化した。4は正文、3は誤文。ナウマンゾウやオオツノジカなど大型動物を狩猟していたのは旧石器時代。

問2. ④正文。①誤文。定住生活は、食料の獲得法が多様化した縄文時代に始まった。②誤文。弥生時代には青銅器と鉄器の使用がみられた。③誤文。土偶や石棒を用いた祭祀が行われたのは縄文時代。

問3. ②が正しい。甲の写真は鋤。鋤は、田を掘り起こす土起こしのために用いられた。乙の写真は堅杵。堅杵は、脱穀のために用いられた。

問4. ①が正しい。Ⅰ. 箸墓古墳が造営された（出現期）→Ⅱ. 倭王武が中国南朝の宋に上表文を送った（中期、478年）→Ⅲ. 筑紫国造磐井が、新羅と結んで大規模な反乱を起こした（後期、527～28年）の順となる。

問7. ②正文。①誤文。口分田は女性にも班給された。良民女性には良民男性の3分の2を班給。③誤文。労役（歳役）10日に代えて布などを納めるのは庸。雑徭は地方での労役。百姓らは国司のもと60日間を限度に使役された。④誤文。兵士は21～60歳の正丁から徴発された。

問8. ③が正しい。2は正文。図には、荘園内に「野池」などの未開地が見受けられる。1は誤文。図からは荘園内に百姓の家は見受けられない。3は正文、4は誤文。初期荘園は10世紀頃に郡司の弱体化にともない衰退していった。

問10. ③が正しい。Ⅱ. 平将門の乱や藤原純友の乱は10世紀前半に起こった（939年）→Ⅰ. 尾張守藤原元命が訴えられたのは10世紀後半（988年）→Ⅲ. 刀伊と呼ばれる女真人が九州北部に來襲したのは、11世紀前半（1019年）の順となる。

問12. ④誤文。莊園の境界は勝示によって定められた。「大道が南の志富田荘との境界とされている」は誤り。①～③正文。

問14. ②が正しい。X. 正文。Y. 誤文。5代執権北条時頼の時代に設置された引付と引付衆は、評定と評定衆のもとに置かれた。

問15. ③が正しい。Ⅱ. 観応の擾乱が起こった(1350～52年)→Ⅰ. 中山王尚巴志が琉球を統一した(1429年)→Ⅲ. 足利義政が銀閣を建てた(1489年)の順となる。

**2****解答**

問1. ④ 問2. ② 問3. ② 問4. ③ 問5. ①  
問6. ① 問7. ③ 問8. ④ 問9. ① 問10. ③

**◀ 解 説 ▶****《江戸時代の触書》**

問1. 史料には「旧来の借金は勿論、六ヶ年以前辰年までに借請け候金子は、古借・新借の差別なく、棄捐の積り相心得べき事」とある。ここから棄捐令の史料であると判断したい。

問2. ②が正しい。1は正文、2は誤文。棄捐令は、蔵宿(札差)に6年以前の旗本・御家人への貸金を放棄させた。「諸大名に肩代わりさせた」は誤り。4は正文、3は誤文。棄捐令は旗本・御家人への蔵宿(札差)の貸金を放棄させるもので、藩財政とは関わりがない。

問3. ②が正しい。史料A(棄捐令)は寛政の改革時に出された。②の『仕懸文庫』の作者山東京伝は寛政の改革で処罰された。①の為永春水は人情本『春色梅児誉美』の作者、④の柳亭種彦は合巻『修紫田舎源氏』の作者で、ともに天保の改革で処罰された。③の『好色一代男』は井原西鶴の作品で、元禄文化期に著された。

問4. ③が正しい。南海路を就航した菱垣廻船は、積荷の落下防止のため、両舷に菱組の垣をつけていた。

問6. ①が正しい。1は正文、2は誤文。史料には「菱垣廻船……冥加上納致来り候……以来上納に及ばず候」とある。「菱垣廻船から冥加金を取り立てることにした」は誤り。3は正文、4は誤文。史料の内容から、菱垣廻船の活動停止が命じられたことを読み取りたい。「菱垣廻船が……江戸廻送を独占した」は誤り。

問7. ③が正しい。史料Cは享保の改革でとられた上げ米の令。2は正文、1は誤文。「江戸・大坂周辺の大名の飛地や……他の土地と交換して、直轄地にしようとした」のは上知令。3は正文、4は誤文。史料Cは享保の改革の政策であり、天保の改革を行った水野忠邦は史料の時期に該当しない。

問10. ③が正しい。C（上げ米の令，享保の改革）→A（棄捐令，寛政の改革）→B（株仲間解散令，天保の改革）の順となる。

3

**解答**

問1. ④ 問2. ② 問3. ② 問4. ① 問5. ③

問6. ④ 問7. ③ 問8. ① 問9. ③ 問10. ④

問11. ② 問12. ③ 問13. ① 問14. ② 問15. ④

---

**◀ 解 説 ▶**


---

**《東アジアと近代日本》**

問2. ②正文。①誤文。15代将軍徳川慶喜は倒幕派の機先を制し、大政奉還を実行した。「五箇条の誓文を公布した」は誤り。③誤文。王政復古の大号令が出され、新政府の樹立が宣言される前に、孝明天皇は死去していた。④誤文。戊辰戦争は1868年から始まった。「1867年」の出来事ではないので誤り。

問3. ②正文。①誤文。廃藩置県は1871年、沖縄県設置は1879年。「同時に断行された」は誤り。③誤文。県令は中央の役人が派遣された。④誤文。台湾出兵は1874年、沖縄県設置は1879年であるため、台湾出兵の際に沖縄県が拠点となることはあり得ない。

問5. ③が正しい。2は正文、1は誤文。1890年に国会を開設することを公約したのは、漸次立憲政体樹立の詔ではなく、国会開設の勅諭。3は正文、4は誤文。自由党の総理は植木枝盛ではなく、板垣退助。

問6. ④が正しい。2は正文、1は誤文。松方財政ではデフレ政策がとられたため、景気は後退した。4は正文、3は誤文。日清戦争で得た賠償金の一部を準備金として金本位制が採用された。「銀本位制が採用」は誤り。

問9. ③が正しい。Ⅱ. 第2次日韓協約(1905年)→Ⅰ. 安重根が伊藤博文をハルビンで射殺した(1909年)→Ⅲ. 独立宣言が読み上げられ、多くの人々が「朝鮮万歳」を叫んで市街を行進した(1919年、三・一独立運動)の順となる。

- 問10. ④が正しい。2は正文、1は誤文。「臥薪嘗胆」は日露戦争に向けて唱えられたスローガン。4は正文、3は誤文。関税自主権の回復が実現したのは、陸奥宗光外務大臣ではなく小村寿太郎外務大臣のもとでのこと。
- 問12. ③が正しい。2は正文、1は誤文。日本は三国協商側で参戦したため、「三国同盟側の国々に軍需品を輸出」は誤り。3は正文、4は誤文。
- 21 カ条の要求は、蔣介石政府ではなく、袁世凱政府に対して行われた。
- 問13. ①が正しい。Ⅰ. 片岡直温蔵相の失言から始まったのは金融恐慌（第1次若槻礼次郎内閣、1927年）→Ⅱ. 金輸出解禁を実施したため恐慌状態となった（浜口雄幸内閣、1930年、昭和恐慌）→Ⅲ. 欠食児童や女子の身売りが続出した（昭和恐慌の最中）の順となる。
- 問14. ②が正しい。1は正文、2は誤文。満州国の初代皇帝には、袁世凱ではなく、溥儀が就任した。4は正文、3は誤文。若槻内閣総辞職後に組閣したのは斎藤実ではなく、犬養毅。
- 問15. ④が正しい。Ⅱ. 盧溝橋で日本軍と中国軍の衝突が発生（1937年、日中戦争の開始）→Ⅲ. 国家総動員法の制定（1938年、日中戦争への対応）→Ⅰ. ハワイ真珠湾を奇襲（1941年、太平洋戦争の開始）の順となる。

4

**解答**

- 問1. ③ 問2. ① 問3. ② 問4. ④ 問5. ③  
問6. ① 問7. ① 問8. ④ 問9. ③ 問10. ②

◀ 解 説 ▶

《近代における女性の活動》

- 問1. ③が正しい。2は正文、1は誤文。男女に等しく学ばせる国民皆学の精神が初めて示されたのは、教育令ではなく学制。3は正文、4は誤文。同志社英学校を創立したのは、内村鑑三ではなく新島襄。
- 問2. ①が正しい。1は正文、2は誤文。西郷隆盛は岩倉使節団に参加していない。留守政府の一員として征韓論を唱えたが、征韓論争に敗れ、明治六年の政変で下野した。3は正文、4は誤文。木下尚江は1901年に結成された社会民主党の結成メンバーの一人。なお、木下尚江は男性のため、女子留学生にはあたらない。
- 問3. ②が正しい。X. 正文。Y. 誤文。渋沢栄一らの援助により、1万錘規模の大規模経営に成功したのは、大阪紡績会社。
- 問4. ④が正しい。2は正文、1は誤文。政教社の雑誌『日本人』が高島

炭鉱問題を報道したように、男性労働者も劣悪な労働条件下に置かれていたことが報告されていた。4 は正文、3 は誤文。工場法は労働者保護立法。12 歳未満の就労禁止や 15 歳未満の年少者や女子の 12 時間をこえる労働を原則禁止するなどした。

問 5. ③が正しい。X. 誤文。軍服材料には生糸ではなく、おもにラシャ（毛織物）が用いられた。Y. 正文。

問 6. ①正文。②誤文。「君死にたまふことなかれ」は、日清戦争ではなく、日露戦争に対して反対した詩。③誤文。君とは、天皇ではなく、与謝野晶子の弟を指す。④誤文。与謝野晶子は反戦詩のなかで天皇を批判していない。

問 8. ④誤文。日本農民組合は、日本最初の小作人の全国組織組合。「地主を組合員として」は誤り。①～③正文。

問 9. ③が正しい。Ⅱ. 蔣介石が北伐を開始した（1926 年）→Ⅰ. 関東軍が張作霖を爆殺した（1928 年）→Ⅲ. 統帥権干犯問題がおこった（1930 年）の順となる。

問10. ②が正しい。X. 正文。Y. 誤文。大政翼賛会結成に合わせて、すべての政党が解散し、同組織に合流した。

# 世界史

1

**解答**

- 問1. ② 問2. ③ 問3. ③ 問4. ④ 問5. ④  
 問6. ④ 問7. ③ 問8. ③ 問9. ③ 問10. ①  
 問11. ④ 問12. ④ 問13. ④ 問14. ② 問15. ④  
 問16. ④ 問17. ① 問18. ④ 問19. ② 問20. ※

※正答が2つ以上あることが判明したため、正答である選択肢いずれを解答した場合でも加点する措置が取られたことが大学から公表されている。

## ◀ 解 説 ▶

### 《インド・東南アジア宗教史》

問1. ア. 誤文。ユダヤ教は、一神教でありヤハウェのみが信仰の対象である。イ. 正文。ムハンマドは、大天使ジブリールを通じて神の啓示を受けた預言者である。ウ. 誤文。アタナシウス派は三位一体説を唱え、キリストも父なる神と等質で不可分とされている。エ. 正文。したがって、正答は②となる。

問2. ③正文。いわゆる北虜南倭は16世紀に激しさを増した。①誤文。後金の建国は1616年であり、17世紀の出来事。②誤文。朝鮮王朝の建国は1392年で14世紀。④誤文。文禄・慶長の役は、徳川家康ではなく、豊臣秀吉による。

問4. ア. 誤文。インド航路を開いたのは、スペインではなくポルトガル。イ. 誤文。イギリスは、マドラス・ボンベイ・カルカッタを根拠地とした。フランスは、ボンディシェリとシャンデルナゴルを根拠地とした。

問5. ④誤文。イギリスは、第3次ビルマ戦争で勝利し、ビルマ(コンバウン朝)を征服した。

問8. ア. 誤文。九十五カ条の論題を提起したのは、ツヴィングリではなく、ルターである。イ. 正文。

問9. ア. 誤文。奴隸王朝から始まるデリー=スルタン朝は、ヒンドゥー教系ではなくイスラーム王朝である。イ. 正文。

問10. ①誤文。ジャワ島のボロブドゥール寺院の造営はシャイレーンドラ朝によるもので、タイとは無関係である。

問11. ア. 誤文。ナーガールジュナが教理を体系化したのは、大乘仏教である。イ. 誤文。オアシスの道を通じて中国に伝わった北伝仏教は、大乘仏教。上座部仏教は主に東南アジアに伝わったので、南伝仏教と呼ばれる。

問13. ア. 誤文。『エリュトゥラー海案内記』は、エジプトのギリシア人が1世紀にまとめた案内記である。

イ. 誤文。チョーラ朝は、ドラヴィダ系タミル人の王朝であり、タミル語が使われていた。

問14. ①誤文。秦の始皇帝は、郡県制を全国に施行した。②正文。③誤文。隋の煬帝が、華北と江南を結ぶ大運河を完成させた。④誤文。隋の文帝(楊堅)が、科挙を創設した。

問15. ①誤文。唐と結んだ新羅が百済を白村江の戦いでやぶった。②誤文。王建は、高麗を建てて開城を都とした。③誤文。朝鮮は、清のホンタイジの侵攻を受けて、これに服属した。④正文。この農民蜂起は甲午農民戦争(東学の乱)と呼ばれる。

問17. ①誤文。ヴェネツィア商人の思惑でコンスタンティノーブルを占領し、ラテン帝国を建てたのは、第4回十字軍である。

問19. ア. 正文。イ. 誤文。アーリヤ人が信仰したバラモン教の聖典は、『ヴェーダ』である。『アヴェスター』は、ゾロアスター教の聖典。ウ. 正文。エ. 誤文。ゼロの概念はインドで生み出され、イスラーム世界などに伝えられた。したがって、正答は②となる。

2

解答

問1. ③ 問2. ② 問3. ① 問4. ③ 問5. ③

問6. ④ 問7. ③ 問8. ④ 問9. ② 問10. ①

問11. ③ 問12. ③ 問13. ② 問14. ③ 問15. ④

### ◀ 解 説 ▶

#### 《生理用品の社会史》

問1. ア. 誤文。ジャンヌ=ダルクが受けた神のお告げはフランスを救うことであり、オルレアン戦いを勝利に導いたジャンヌは、シャルル7世の戴冠式をランスで挙行了。イ. 正文。

問2. ②誤文。ムスタファ=ケマルは、女性の参政権を認めた。

問4. ①誤文。アメリカ軍は、沖縄に上陸して日本軍と激しい地上戦を展開した。②誤文。ソ連は、1945年8月8日、日本に宣戦布告して満州な

どに侵攻した。③正文。④誤文。ポツダム宣言は、原爆投下よりも前の1945年7月26日に発せられた。

問5. ア. 誤文。ヒトラーが率いるナチ党は、合法的な選挙で議席を拡大し、ヴァイマル憲法に規定された大統領の権限によって合法的に政権を獲得した。イ. 正文。

問7. ③誤文。イスラーム社会はタラス河畔の戦いを機に唐軍の捕虜から製紙法を学んだ。

問8. ア. 誤文。18世紀のイギリス産業革命は、綿工業を中心に機械化が進んだ。イ. 誤文。南北戦争の背景には、自由貿易を望んだ南部と保護貿易を望んだ北部との対立があった。

問9. ア. 正文。イ. 誤文。蒋介石の率いる国民政府の首都は、南京から武漢、さらに重慶へと移転した。

問11. ア. 誤文。総力戦体制を経験したイギリスは、銃後の女性の活躍を高く評価し、1918年には女性の参政権を認めた。イ. 正文。

問12. ①誤文。大韓帝国の高宗は、1907年、第2回万国平和会議に密使を送って国際世論に訴えようとした。国際連盟はまだ創設されていない。

②誤文。初代朝鮮総督は、伊藤博文ではなく、寺内正毅である。③正文。

④誤文。朝鮮総督府は、当初は武断政治を行っていたが、三・一独立運動が起きると、文化政治に転換した。

問13. ア. 正文。イ. 誤文。インド大反乱を受けて、イギリスは1858年に東インド会社を解散させ、インドの直接統治を開始した。そして、それまでの東インド会社による統治の残務処理を終えた後にインドを完全植民地化し、1877年にインド帝国を成立させた。

問14. ③誤文。朴正熙暗殺事件後の民主化運動の高まりの中で、全斗煥は軍事独裁政権の継続をはかり、光州事件で民主化運動を弾圧した。

問15. ④誤文。金正日と金大中の南北首脳会談を経ても、朝鮮戦争は正式終結には至っていない。

**3**

**解答**

問1. ③ 問2. ① 問3. ② 問4. ⑤ 問5. ③  
問6. ② 問7. ① 問8. ④ 問9. ② 問10. ③  
問11. ① 問12. ① 問13. ③ 問14. ② 問15. ④



---

**◀ 解 説 ▶**

---

**《オーストラリア先住民の歴史》**

問1. ③のクックは、第一次航海(1768～1771年)の際に、シドニーに到達した。

問4. ⑤のニュージーランドでは、イギリス出身女性の中から女性参政権運動が起き、世界で最も早く1893年に女性参政権が承認された。

問5. ③のイーデンだけは、保守党の出身である。

問6. ②の多文化主義は、白豪主義を否定し先住民の文化を重んじる思想である。

問7. ①正文。②誤文。トンブクトゥは、マリ王国・ソンガイ王国の中心地である。③誤文。イギリスは、英仏協商によってエジプトにおける支配的地位を獲得した。モロッコの支配的地位を得たのはフランスである。④誤文。ベルギーの介入を受けたのはコンゴである。ガーナの旧宗主国はイギリスである。

問9. ア. 正文。イ. 誤文。オーストラリアの先住民族は主に狩猟採集生活を営んできた。

問10. ア. 誤文。トルデシヤス条約は、ポルトガルとスペインの勢力範囲を画定した条約である。イ. 正文。

問11. ①正文。②誤文。イギリスは日露戦争に参戦していない。③誤文。日本は日英同盟を理由として協商国側で第一次世界大戦に参戦した。④誤文。日英同盟は、ワシントン会議で締結された四カ国条約で解消した。

問12. ①誤文。第2回選挙法改正は、1867年に行われた。②正文。第2次アフガン戦争は、1878～1881年におこった。③正文。イリ条約は、1881年に締結された。④正文。日朝修好条規は、1876年に締結された。

問13. ①誤文。マルコスは、1965年に初めて大統領になり、その後に独裁化した。②誤文。インドネシアのクーデタ(九・三〇事件)は、1965年におこった。③正文。スターリンの死去は1953年、スターリン批判は1956年である。④誤文。イラン革命は1979年。

問14. 1848年のカリフォルニアの金鉱発見からゴールド=ラッシュがおこった。

◀ 数学 I ・ II ・ A ▶

1

**解答** (1)(a)  $(2x+y+1)(x+2y+3)$  (2)(b) 1

(3)(c) 2 (4)(d)  $\frac{49}{180}$

◀ 解 説 ▶

《小問 4 問》

$$(1) \quad 2x^2 + 5xy + 2y^2 + 7x + 5y + 3 = (2x+y)(x+2y) + 7x + 5y + 3 \\ = (2x+y+1)(x+2y+3) \rightarrow (a)$$

$$(2) \quad \text{真数は正なので, } 3-x > 0 \text{ かつ } 2x-1 > 0, \text{ つまり } \frac{1}{2} < x < 3 \quad \cdots \cdots \textcircled{1}$$

が必要である。このとき

$$\log_2(3-x) = \log_2(2x-1)^2 + \log_2 2$$

$$\log_2(3-x) = \log_2 2(2x-1)^2$$

$$3-x = 2(2x-1)^2$$

$$8x^2 - 7x - 1 = 0$$

$$(8x+1)(x-1) = 0$$

であり, これと①を満たす  $x$  の値は  $x=1 \rightarrow (b)$

$$(3) \quad \alpha \text{ を } \cos \alpha = \frac{2}{\sqrt{13}}, \sin \alpha = \frac{3}{\sqrt{13}}, \frac{\pi}{4} < \alpha < \frac{\pi}{2} \text{ を満たす角とすると}$$

$$f(\theta) = \sqrt{13} \left( \frac{2}{\sqrt{13}} \sin \theta + \frac{3}{\sqrt{13}} \cos \theta \right)$$

$$= \sqrt{13} (\sin \theta \cos \alpha + \cos \theta \sin \alpha)$$

$$= \sqrt{13} \sin(\theta + \alpha)$$

と変形できる。

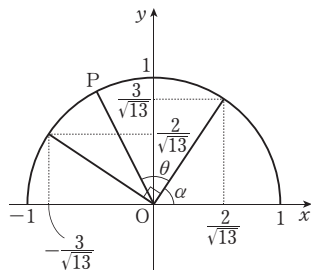
ここで、 $\theta + \alpha$  のとりうる値の範囲は

$\alpha \leq \theta + \alpha \leq \alpha + \frac{\pi}{2}$  であり、 $\sin(\theta + \alpha)$  のと

りうる値の範囲は、動点 P が右図の円周上を  $x$  軸の正の向きとのなす角  $\alpha$  に対応

する点から  $\frac{\pi}{2} + \alpha$  に対応する点までを動く

ときの点 P の  $y$  座標のとりうる値の範



囲である。したがって、上図より、 $\sin(\theta + \alpha)$  は  $\theta = \frac{\pi}{2}$  のとき最小とな

るから、 $f(\theta)$  の最小値は

$$f\left(\frac{\pi}{2}\right) = 2 \rightarrow (c)$$

(4) 3つのセンサーすべてが警報を鳴らすのは、室温が  $35^{\circ}\text{C}$  を超えたときにすべてのセンサーが正常に動作するか、室温が  $35^{\circ}\text{C}$  を超えなかったときにすべてのセンサーが誤動作するかのいずれかであり、これらの事象は互いに排反である。

すべてのセンサーが正常に動作する確率は

$$\frac{2}{3} \times \frac{3}{4} \times \frac{4}{5} = \frac{2}{5}$$

すべてのセンサーが誤動作する確率は

$$\frac{1}{3} \times \frac{1}{4} \times \frac{1}{5} = \frac{1}{60}$$

であるから、求める確率は

$$\frac{2}{3} \times \frac{2}{5} + \frac{1}{3} \times \frac{1}{60} = \frac{49}{180} \rightarrow (d)$$

**2**

**解答**

$$(1) \quad \begin{cases} y = x^2 - 2 & \cdots \cdots \textcircled{1} \\ x^2 + y^2 = 4 & \cdots \cdots \textcircled{2} \end{cases}$$

①より  $x^2 = y + 2$  を②に代入して  $y + 2 + y^2 = 4$

$(y - 1)(y + 2) = 0$  であるから  $y = 1, -2$

$y = 1$  のとき、 $x^2 = 3$  より  $x = \pm\sqrt{3}$

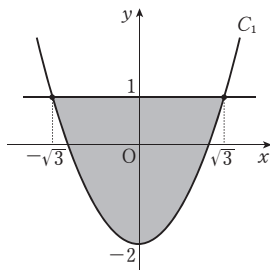
$y = -2$  のとき、 $x^2 = 0$  より  $x = 0$

したがって、求める共有点の座標は

$(\sqrt{3}, 1), (-\sqrt{3}, 1), (0, -2) \dots\dots$ (答)

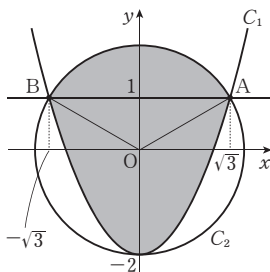
(2) 求める面積は、右図の網掛け部分の面積であるから

$$\begin{aligned} & \int_{-\sqrt{3}}^{\sqrt{3}} \{1 - (x^2 - 2)\} dx \\ &= 2 \int_0^{\sqrt{3}} (3 - x^2) dx \\ &= 2 \left[ 3x - \frac{x^3}{3} \right]_0^{\sqrt{3}} \\ &= 2(3\sqrt{3} - \sqrt{3}) \\ &= 4\sqrt{3} \quad \dots\dots(\text{答}) \end{aligned}$$



(3) 求める面積は、右図の網掛け部分の面積であり、直線  $y=1$  の下側の面積は(2)で求めたので、直線  $y=1$  の上側の面積を求める。ここで、右図のように直線  $y=1$  と円  $C_2$  の共有点を A, B とすると、 $\angle AOB=120^\circ$  なので、直線  $y=1$  の上側の面積は

$$\begin{aligned} & (\text{扇形 OAB の面積}) - (\triangle OAB \text{ の面積}) \\ &= 4\pi \times \frac{120^\circ}{360^\circ} - \frac{1}{2} \times 2\sqrt{3} \times 1 \\ &= \frac{4\pi}{3} - \sqrt{3} \end{aligned}$$



以上より、求める面積は

$$\left( \frac{4\pi}{3} - \sqrt{3} \right) + 4\sqrt{3} = \frac{4\pi}{3} + 3\sqrt{3} \quad \dots\dots(\text{答})$$

### ◀ 解 説 ▶

#### 《円と放物線で囲まれた部分の面積》

図形と方程式、および積分法の基本的な問題である。曲線の概形を描いて状況を把握しよう。(3)のように円の一部を含む図形の面積を計算する場合は、中心角が有名角であるような扇形を利用する。

3

解答

(1)  $h(x)=f(x)-g(x)$  とおく。

$-2 \leq x \leq 2$  における  $h(x)$  の最小値が 0 以上となるような  $k$  の値の範囲を求めればよい。

$$h(x) = x^3 - x^2 - x + k + 2 \text{ より}$$

$$h'(x) = 3x^2 - 2x - 1 = (3x+1)(x-1)$$

であり、関数  $h(x)$  の  $-2 \leq x \leq 2$  における増減表は次のようになる。したがって、 $-2 \leq x \leq 2$  における  $h(x)$  の最小値は  $h(-2)$  または  $h(1)$  である。

$x$	-2	...	$-\frac{1}{3}$	...	1	...	2
$h'(x)$		+	0	-	0	+	
$h(x)$		↗		↘		↗	

ここで

$$h(1) - h(-2) = k + 1 - (k - 8) = 9 > 0$$

だから、 $h(-2) = k - 8$  が  $-2 \leq x \leq 2$  における  $h(x)$  の最小値である。

したがって、求める  $k$  の値の範囲は

$$k \geq 8 \quad \cdots \cdots (\text{答})$$

(2)  $-2 \leq x \leq 2$  における  $f(x)$  の最小値が、 $-2 \leq y \leq 2$  における  $g(y)$  の最大値以上となるような  $k$  の値の範囲を求めればよい。ここで

$$f'(x) = 3x^2 + 4x - 4 = (3x-2)(x+2)$$

であるから、関数  $f(x)$  の  $-2 \leq x \leq 2$  における増減表は次のようになる。

$x$	-2	...	$\frac{2}{3}$	...	2
$f'(x)$	0	-	0	+	
$f(x)$		↘		↗	

したがって、 $-2 \leq x \leq 2$  における  $f(x)$  の最小値は  $f\left(\frac{2}{3}\right) = k - \frac{40}{27}$  である。

また

$$g(y) = 3\left(y - \frac{1}{2}\right)^2 - \frac{11}{4}$$

より、 $-2 \leq y \leq 2$  における  $g(y)$  の最大値は  $g(-2) = 16$  である。

したがって、求める  $k$  の値の範囲は

$$k - \frac{40}{27} \geq 16$$

$$k \geq \frac{472}{27} \quad \dots\dots (\text{答})$$

---

◀ 解 説 ▶

---

《 3 次関数の最大値と最小値 》

3 次関数の最大値，最小値に関する標準的な問題である。「区間内で常に」「任意の実数に対して」というややわかりにくい表現を，最大値や最小値といった計算しやすいもので言い換えることで見通しよく解くことができる。

る。したがって①「高い生産性を維持するためには不平等が必要」、③「人間による自由な消費や生産が行われていない」は誤り。さらに「その視点」の「その」が直接指示する傍線部直前の一文の「人びとが……倫理的価値が生まれる」という記述から、④が正解であると判断できる。

問十七 傍線部の前の二文「今日、人々は……権限を移譲してしまうのだ」に着目すれば、③が適切。①は傍線部のうち「社会で……拡大すること」までの説明にとどまり、「彼らは」「許容してしまう」について言及できていない点で不適切。

問十八 ①・③・⑦のうち二つ、というところまでは絞れるだろう。③は傍線部⑨から空欄エの段落までの内容と明確に合致する。①の「互いに無関心である」のは「都会」の人々のことであって、日本の人々全般に拡大解釈するべきではないだろう。⑦について、イリイチの危惧は一義的には「人びと」「社会」に対するものなので、危惧が「政治行政を担う者たち」に向かっているのが気にはなるが、傍線部⑫の次文以降の内容に合致すると判断できる。

ち」が誤り。

問十一 傍線部の「その妄想」とは、直前の一文にある「西洋近代のように完全であろうとする野心や欲求」によって「肥大化」するものである。本文で「西洋近代」的な発想として挙げられているのが空欄Bの「三元論」、傍線部⑧を含む段落の「多数決民主主義」、その次の段落の「完全なる自己を求めて……自立的個人のアイデンティティ」などであり、それらに共通してみられる発想が〈絶対性〉である。したがってここでの「妄想」とは、なにがしかの絶対的基準を想定して認識判断できるという考え方である。それと矛盾するのは③である。

問十二 「改宗」とは信仰の対象を他の宗教や教義に変えることだが、それを「迫る」のだから相手に考え方を変えるように要求することである。したがって③が正解。④は文字通りの意味で「『改宗』を迫る」内容だが、ここでの「改宗」は鉤括弧で括られていることからわかるように隠喩である。

問十三 傍線部を含む一文は「多数決民主主義」の「無理」を指摘する部分である。同じ段落で「人間が一貫した意見をもつ」という「多数決民主主義」の前提と、それと相反する「人の意見を聞いて……問題のほうが多い」という現実とを対比した上での指摘なので、両者の矛盾を指摘している②が正解である。

問十四 傍線部が「コンヴィヴィアリティは……革新的な方法をもたらす」という構文なので、「コンヴィヴィアリティ」によってもたらされるものは何か、と問われていることになるが、それについては次の段落から空欄エの段落まででエチオピア人とのつきあいを例として「凝り固まっていた身体がほぐれ、外部にひらかれる感覚」「固定的な差異に結びつけられていた境界が揺らぎはじめる」(空欄エを含む段落)などと説明されているので、④が正解。

問十五 「このコンヴィヴィアリティ」については問十四と同じ箇所ですべて具体的に説明されており、さらに傍線部の直後で「日本の『むら』で……ともに問題に対処する」とあるので、①「やがて民族や国家など……チャンスが潜んでいる」が整合性が高い。

問十六 傍線部の「その視点」とは前の段落で説明されるイリイチの視点であり、「アナキズム」は注釈で説明されてい



逆のことを言っている。

問四 傍線部の直後「私自身も……」から同じ段落の末尾までで語られる内容との整合性を考えれば②が正解。①の「……という規則がある」、④の「発言の内容を疑うことも会話を楽しむための手段だと考えられている」は本文の内容から見て無根拠であり、③の「相手を警戒することが常識」というのは飛躍が過ぎる。

問五 直前の段落の「人間なんて所詮そんなもんだよな、といった感覚」、傍線部④を含む引用文の「世界は自己意識をもつ不完全な存在によって生成されており、同様に不完全な他者との関係のなかで……」という記述、その次の段落の「『人間』は、いつも不完全な存在……このアフリカの民衆的想像力」を見れば、④「不完全な」が正解である。

問六 空欄イ・Cを含む段落に「世界は流動的で……このアフリカの民衆的想像力についてのニヤムンジョの議論」とあるので、②「人々が共有するものごとの捉え方」が適切。

問七 空欄の後の「情動と認識、……」で列挙されている例示の内容から、②「二元論」が正解である。

問八 傍線部の「その存在」は同じ引用文の中の「自己意識をもつ不完全な存在」だが、これについての筆者の解釈は続く段落の「そこでの『人間』は……可能性が生まれる」という部分で説明されている。「完全な存在」を志向することになっている①・②はそれと矛盾しており、④「向上心を持ってお互いを高め合う関係性」は無根拠である。

問九 選択肢を見ると、「(一般の)人々」と、この部分で話題となっている事柄との関係を語る記述が入るとわかる。空欄の直前に「でも」という逆接の接続詞があるが、これは同じ段落で紹介されたニヤムンジョの議論の「スケール」の「壮大」さとの関係を表現する。したがって(スケールは壮大だが(一般の)人々と)どうであるのか、と考えれば、第三・四段落で紹介されるエチオピアの人々の人間観と共通性があることがわかる。したがって正解は④。

問十 「葛藤」とは〴〵心の中にそれぞれ違った方向や相反する方向の欲求や考えがあつて、その選択に迷う状態〴〵を意味する。したがって、二者のうち片方が優位な状態になるものは誤りとなる。②は「他者を自分よりも下位の存在にしたい」、③は「支配される人々に対して支配する側が一方的な許しを求め」、④は「協力関係よりも依存の方が際立

- 問十 ①  
 問十一 ③  
 問十二 ③  
 問十三 ②  
 問十四 ④  
 問十五 ①  
 問十六 ④  
 問十七 ③  
 問十八 ③・⑦

## ▲解

## ▼説

設問数が多いのでそれぞれに手早い判断が要求されるが、本文の後の注釈に読解の鍵となる用語や概念の説明がなされているので、それにも十分注意を払う必要がある。

問二 空欄アの直後の「……でも」と対応するのは③の「たとえ」。イの前後の「『人間』は、いつも不完全な存在」「不完全だからこそ……が生まれる」という記述を繋げる言葉としては①「でも」と④「そもそも」が考えられる。ウの直前で意見や気持ちが変化しうることが指摘され、直後で「『よくわからない』問題のほうが多い」と、より根本的な点が指摘される展開となっているのでこちらに「そもそも」が入り、イに「でも」が入ると判断できる。エの前後は前提と帰結の論理関係となるので②「すると」が入る。

問三 「タチャウト」については注釈で説明されている。②の「それをあたり前だと感じていた」は無根拠である。また②の「強い違和感を感じている」と③の「日本での生活に戻った瞬間に」は、直前の一文の「……に慣れると……やりすごしてしまう自分がいる」と齟齬をきたしている。④の「日本での対人関係の良さに気づいて」は本文の内容と

「だに」を単なる限定ととらえている点で不適。

問十五 空欄の前後の記述「よりてまなびは」Bをよしとする」から、空欄に入るのは和歌の学習について「よし」と肯定される事柄である。同じ段落の半ばあたりから、「……を万葉に得て、後に古今歌集へ下りてまねぶべし」「いち早く高くのぼりて上を明らかに末を見よ」など、「上」から「下」へ、という順番の妥当性が繰り返し語られている。正解は①。

問十七 ①は「巻二十」所載の和歌について「特に優れた古い歌」としているのが誤り。本文中で巻二十の和歌についてそのような記載はない。②は本文第二段落の「ただ言葉の……を取るべし」の部分の内容と合致しており、これが正解。③は「平安時代後半」が第三段落冒頭付近の内容と齟齬をきたしており、④は第三段落後半の内容と矛盾する。

2

**出典**

松村圭一郎『くらしのアナキズム』Λ第六章 自立と共生のメソッド——暮らしに政治と経済をとりもどすV（ミシマ社）

**解答**

- |     |       |
|-----|-------|
| 問一  | 問一    |
| ア—③ | (a)—④ |
| イ—① | (b)—② |
| ウ—④ | (c)—④ |
| エ—② | (d)—① |
|     | (e)—③ |

- |    |    |
|----|----|
| 問三 | 問三 |
| ①  | ①  |
| 問四 | 問四 |
| ②  | ②  |
| 問五 | 問五 |
| ④  | ④  |
| 問六 | 問六 |
| ②  | ②  |
| 問七 | 問七 |
| ②  | ②  |
| 問八 | 問八 |
| ③  | ③  |
| 問九 | 問九 |
| ④  | ④  |

である。

問七 「やむごとなし」は「放っておけない」(放っておけないほど) 大切である・高貴である」という意味の語。傍線部を含む一節が「いとやむごとなきあたりに、をす(「お治めになる」) 国人の心をも知らするもの」となっている点からも、正解は④。

問八 知識があれば簡単だが、選択肢に並んでいる和歌の作者をすべて知っている受験生は少ないだろう。山上憶良の有名な歌「憶良らは今はまからむ子泣くらむそれその母も吾を待つらむそ」との類似性から①が正解と判断できるかどうかである。残りの三首も『万葉集』所収で、②は山部赤人、③は額田王、④は大海人皇子(天武天皇)の作である。

問九 傍線部直前に「しかれば」と指示語を含む順接の確定条件句があるので、その指示内容を確認する。直前の二文、「かくさまざまなれば、よく撰び整へたる巻は少なし」「よりてたはれたるも……言葉のわるきもあり」の内容から、③が正解と判断できる。

問十 「よみ人知らずてふ歌」の特徴について記してあるのは、傍線部の次の一文の「彼はこと広く……なだらかにほひやかなれば」の部分である。①は「こと広く」、②は「心みやびかに豊けくして」、④は「なだらかにほひやかなれば」に対応しているの、その内容と対応していないのは③「表現の工夫が巧み」である。

問十二 「むつかし」は「望ましくない事態について不快に感じる」ことを表現する語で、「不快・機嫌が悪い」「煩わしい・面倒」「むさ苦しい」等の訳語を当てることが多い。この傍線部は直前で「人の心に巧み多く、言にまことは失せて歌をわざとしたれば」という理由を示した上の判断であることからしても、③が正解である。

問十三 傍線部直前に「このことわりを忘れて……古今歌集を事のもととしてまねぶからに」とあり、「このことわり」の具体的内容は直前の一文「いにしへ人の……まねぶべし」で語られている。それを踏まえている②が正解となる。

問十四 傍線部で用いられている副助詞「だに」は、(1)最低限(せめて)だけでも、(2)類推(くさえ)の用法があり、述語「得ば」が未然形の後に接続助詞「ば」の接続した順接の仮定条件句であることの二点から、①が正解。③は

- 問十五 ①  
問十六 ④  
問十七 ②

▲解 説▼

近世前期の国学者の文章だけあって、受験生にとって耳慣れない語句や表現が散見される。個々の記述については話題（何について語っているのか）や語句相互の論理関係（対応・対比・因果などの関係性）に注意して読んでいくことが重要である。

問二 ラ変型の活用語の連体形に終止形接続の助動詞「べし」「めり」「なり（伝聞・推定）」「らし」が接続した場合、ラ変型の活用語の連体形活用語尾「る」が撥音便化して「ん」となる。さらにこの撥音「ん」が表記されずに「あべし」「あめり」「あなり」などとなることも多い。傍線部はこの「あめり」の後に逆接の接続助詞「ど」が接続したかたちである。したがって正解は④。

問三 空欄に入る言葉は直前の係助詞「なむ」の結びとなる。したがって連体形になっている②が正解である。

問四 「宮ぶり」の「宮」とは本来、神や天皇・皇族が住む場所を意味する語。ここでは和歌の詠みぶりをいう言葉として用いられているので、「宮廷風ぐぐらいの意味である。それと「対義的に用いられている」のは「東歌にて」という修飾句を伴って用いられている傍線部 a の「国ぶり」である。

問五 傍線部の「一つ、二つの巻のよみ人知らえし」は傍線部③の直前の「一の巻、二の巻は凡よみ人知られて」と対応する。またこの傍線部④は直前に「異人の集めつらむとも思へど」とあるように、和歌集の編纂について語っている記述なので、「撰む」というのは和歌集を編纂する、撰集するの意味である。したがって正解は①。

問六 傍線部の「しるく」は「しるし（著し）」という形容詞の本活用連用形で、「はっきりしている・明確である」という意味の語。さらに末尾の「多ければ」が已然形に接続助詞「ば」の接続した順接の確定条件句であるから正解は④

- 問十四 ①  
問十三 ②  
問十二 ③  
問十一 ④  
問十 ③  
問九 ③  
問八 ①  
問七 ④  
問六 ④  
問五 ①  
問四 ①  
問三 ②

**解答**

**1**

- 問二 ④  
問一 ③

**出典**

賀茂真淵『歌意考』

